

平成 2 8 年度事業報告書

H29. 5. 22



公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

平成28年度事業計画

平成28年度事業計画

(H28.3.14/H27 年度第3回理事会承認)

◆新3カ年計画(2016～2018)の初年度

事業(活動)コンセプトは、 **飛び出せ若者!!**

1. ユースリーダー育成支援事業

(1) 明日のリーダーをアジアで育てる海外研修

- ①「グローバル・エデュケーション・ツアー(GET)」(日本→ASEAN)
- ②「さくらサイエンスプラン」(アジア→日本)
- ③「JICA大学生(受託)」(日本大学生→途上国)

(2) グローバル対応企業人を育てる国内研修

- ①「異業種交流研修会」(中堅幹部社員向け)
- ②「若手研修会」(若手社員向け)
- ③「親子体験学習」(小学生向け)
- ④「アジアの会(大阪)」(一般向け)

(3) その他支援(後援)事業

2. 社会啓発事業

(1) 若者が挑戦できる社会づくりへ

- ①「(第8回)若者力大賞」(表彰式の実施)
- ②「広報活動」(広報誌・H/P)

3. 海外交流ネットワーク事業

(1)「AJAFA-21との交流」(ASEAN10 か国の交流組織)

(2)「調査研究／若者市場調査」(日本とASEAN諸国の意識調査)

平成28年度事業結果／総括

I. 継続して実施したこと

【1】当協会の活動方針に基づき、アジア圏(とりわけ ASEAN)での海外研修プログラムおよび国内研修、表彰事業も例年通り、継続して実施いたしました。

- ①「グローバル・エデュケーション・ツアー(GET)」の実施……………3-6P
- ②「AJAFA-21」との交流活動(RLF・ECM・TV会議)に継続参加……15-16P
- ③「異業種交流研修会」「若手研修会」「アジアの会」の実施……………9-12P
- ④「第8回若者力大賞」の選考・表彰の実施……………13P
- ⑤「会長サロン(会員代表者懇談会)」の実施……………19P

II. できなかった(一休みした)こと

【2】JICA大学生スタディプログラムについては、実施計画を提案しましたが、公開入札の結果、今年度は採用に至りませんでした。

- ①「JICA大学生スタディプログラム」の入札敗退
- ②「親子体験学習」はお休み

III. 新たな取り組み

【3】文科省所管の国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の支援プロジェクトである「さくらサイエンスプラン(日本・アジア青少年サイエンス交流事業)」を活用して、海外からの研修生の受け入れ事業に新たに取り組みました。
また、若者力大賞の過去受賞者による講演会を初めて開催いたしました。

- ①「さくらサイエンスプラン(JST)」の実施(2018年度…3回実施)……7-8P
- ②「若者力大賞受賞者講演会」の実施……………14P

I. ユースリーダー育成事業

【1】海外研修事業

①「GET (Global Education Tour)」(短期海外研修)の実施

◆世界のグローバル化が進む中で、日本の若者の内向き志向が心配されています。そこで、閉じこもりがちな日本の若者を、まずは一度、外へ飛び出させようという目的で、GET(Global Education Tour)プログラムを実施しています。AJAFA-21(15ページ参照)の協力を得て、今年度も、春と夏の2回にわたって、合計4コースの海外研修を実施いたしました。

(i)「GET (ミャンマー・コース)」実施

(H28. 8. 5-12)

2016 夏・ミャンマーコースには、高校生・大学生合わせて16名が参加。事前研修会を7/10に開催し、学生たちは4つのグループに分かれて次の3つのミッションの準備に取り組みます。

- ①友達作り(ホームステイ)
- ②現地小学生への授業(日本を伝える)
- ③フィールドスタディ(若者意識調査)

そしていよいよ8/5から8日間の日程で、ミャンマー・ヤンゴンで研修を実施。グループごとに、行く前から3つの課題に取り組み、その中でも小学生への授業に、各チームとも工夫を凝らして臨みました。授業の後、小学生たちからのサイン攻めにあって、学生たちは驚きと感激で一杯でした。ツアーでは、ほかにホームステイや日本企業の見学、現地学生の意識調査や、日本語を学ぶ学生たちとの交流も行われました。

帰国後の9/4に事後研修会が行われ、協会役員や教師、保護者の方々に、それぞれのグループごとに課題の発表を行い、評価をいただきました。緊張の中にも、全員、行く前とは見違えるような、自信に満ちた表情にあふれていました。



(ii)「GET (ベトナム・コース)」実施

(H28. 8. 19-26)

2016 夏・ベトナムコースには、高校生・大学生合わせて 16 名が参加。
事前研修会を、ミャンマーコースと合同で 7/10 に開催。
学生たちはミャンマーと同様、4 つのグループに分かれて、3 つのミッションに取り組みました。(※ミッションはミャンマーと同じ)

そして 8/19 から 8 日間の日程で、
ベトナム・ハノイでの研修を実施。
ホームステイ(1泊)や現地の小学生に
日本のことを伝える授業を実施。
さらには現地学生への街頭インタビューで
若者たちの意識調査に取り組みました。
ツアー中は、日本語を学ぶ現地の学生と
一緒にミッションに取り組み、
共同作業の中から、深い友情が
芽生えてきました。



<ホームステイ>



<小学校授業>



<街頭インタビュー>



<感極まって！サクスディナー>

帰国後の 9/4 に、ミャンマーコースと合同で
事後研修会が行われ、全員、修了証を授与
されて晴れ晴れとした笑顔に包まれました。



(iii) 「GET (タイ・コース)」実施

(H29. 3. 10-17)

(IV) 「GET (インドネシア・コース)」実施

(H29. 3. 28-4. 4)

今年度第3回目・第4回目の「2017 春GET」は、タイとインドネシアの2コースを実施しました。

タイ・コースは今回初めての実施でしたが、大学生4名・高校生7名が参加。同じくインドネシアコースは、大学生6名・高校生6名が参加。海外は初めてという参加者が、今回も約半数を数え、仲間たちに助けられながら飛び出しました。

渡航前の2/12の事前研修会で、みんな初めて顔を合わせ、それぞれ3つのグループに分かれてミッションに取り組みました。

(※ミッションは、毎回、同じです。)

そして3/10から17日までの8日間の日程で、タイ・バンコクでの現地研修を実施。続けて、3/28から4/4まで、インドネシア・ジョグジャカルタで8日間の研修を実施いたしました。



両コース帰国後の4/16に、合同で事後研修会を実施いたしました。



■GET 海外研修の基本プログラム

日程	プログラム内容
1	朝 東京(羽田又は成田)から出発
	昼 現地へ移動
	タ 現地到着、オリエンテーション、現地友好団体によるプレゼンテーション
2	朝 ミッション1「ホームステイ」ホストファミリーとの顔合わせ
	昼 ミッション1「ホームステイ」ホストファミリーの家へ
	タ ミッション1「ホームステイ」ホストファミリー宅宿泊
3	朝 ホストファミリーと市内観光など
	昼 「ホームステイ」振り返り
	タ ミッション2「小学校授業」準備、現地学生との顔合わせ
4	朝 ミッション2「小学校授業」実施、子供たちと遊ぶ
	昼 ミッション2「小学校授業」振り返り、個人面談
	タ 現地学生と街散策
5	朝 国際交流・協力機関訪問
	昼 現地日本企業訪問
	タ ミッション3「現地での意識調査」準備
6	朝 ミッション3「現地での意識調査」実施
	昼 ミッション3「現地での意識調査」実施
	タ サンクスディナー
7	朝 デイトリップ(世界遺産や代表的な観光地へ)
	昼 デイトリップ(世界遺産や代表的な観光地へ)
	タ デイトリップ(世界遺産や代表的な観光地へ)
8	朝 日本へ帰国
	ー 東京(羽田又は成田)に到着
	ー



★ホームステイ(1泊)



★小学校での授業



★フィールドスタディ(街頭調査)

②「さくらサイエンスプラン（日本・アジア青少年サイエンス交流事業）」 の実施

- ◆「さくらサイエンスプラン」は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が、2014 年から行っている研修支援プログラムで、アジアの青少年が日本の科学技術を学ぶ目的で来日して行う研修に対して、研修費用の提供を行っています。そこで当協会にとっては初めての取り組みとして、同プランを活用した来日研修の受け入れを実施いたしました。
- 今年度は、中国から①教師団（16 名）②高校生（16 名）。そしてベトナムからは③大学生（12 名）の3つの研修団を迎え入れ、それぞれ 7 日間の研修を行いました。

（i）「中国・教師団 来日研修」実施

（H28. 6. 5-11）

中国各地の有名高校から選抜された教師（副校長・教頭クラス）14 名に、中日青年交流センターの幹部が 2 名、合計 16 名の編成で来日されました。「日本の科学技術教育とその実践」をテーマに連日、講義・視察・見学を行うハードな日程でしたが、終了後の皆さんからの感想は、初めての訪日で受けた先進性や清潔感などへの驚きや、科学技術教育の高さ、関連施設の充実などに高い関心が寄せられました。



★左上から右回り・・・「国会議事堂」「浄水層装置見学（JX ホールディングス）」
「修了式」「東大生産技術研究所」

(ii)「ベトナム・大学生 来日研修」実施

(H28. 12. 6-12)

12月には、ベトナムから大学生10名と大学院生が2名引率者として参加、合計12名での来日研修を行いました。
海洋開発機構、科学未来館、テレコムセンターなどの見学や、法政大学グローバル教育センターでの講義を受けた後、群馬県に足を運んで、醤油醸造施設見学後、ホームステイ(1泊)で日本の文化や暮らしに触れてもらいました。



(iii)「中国・高校生 来日研修」実施

(H29. 2. 26-3. 4)

中国・北京および江蘇省の有名高校から選抜された生徒14名に、教師2名を加えた16名の研修生が来日。
江戸東京博物館や新日鉄住金・君津製鉄所などを訪問して、日本の歴史や科学技術の先端に触れた1週間でした。
終了後のアンケートでは、再来日を希望する学生がほとんどで、留学生として、あるいは研究員としてまた日本に来たいという声が多く寄せられました。



【2】国内研修事業**①「異業種交流研修会」の定例開催**

◆法人会員や一般企業の中堅幹部クラスを対象として毎年開催している「異業種交流研修会」。今年度は7月・11月・3月の3回にわたり開催いたしました。
毎回30～40名の参加を得て、講演の後は講師を囲んでの懇親会に。

(i) 第24回開催**(H28. 7. 11)**

通算第24回目となる今年度最初の研修会は、会場をJXホールディングス本社の会議室をお借りして、講師には、当協会評議員の木全ミツさんにお引き受けいただき開催いたしました。

テーマは、「女性の活躍推進～健全な日本社会の実現を目指して～」と題してお話をお伺いいたしました。

**(ii) 第25回開催****(H28. 11. 11)**

続いて第25回目の異業種交流研修会は、国際通貨研究所・武田紀久子上席研究員に講師をお願いし、「世界の金融と経済」と題してご講演をいただきました。
トランプ新大統領の選出直後とあって、会場は熱気に包まれました。



(iii) 第 26 回開催

(H29. 3. 6)

第 26 回異業種交流研修会は、講師に環境省の梶原成元地球環境審議官をお招きし、「パリ協定と地球温暖化対策」と題してご講演をいただきました。この会も JX ホールディングス本社会議室をお借りし、講演終了後も講師を囲んで懇談で盛り上がりました。

②「若手研修会」の定例開催

◆企業の若手社員(20～30代)を対象とした「若手研修会」は、異業種の会社訪問や工場見学など、目で見て体感で学ぶ研修を行っています。

(i) 第 8 回開催 (H28. 4. 20)

今年度最初の若手研修会は、鋼材加工メーカーの五十鈴(株)様を訪問。TV中継による工場見学のあと、企業価値づくりのディスカッションなどが、参加者を交えて行われました。



(ii) 第 9 回開催 (H28. 9. 28)

通算 9 回目の例会は、(株)NTTドコモ本社を見学。便利性を追及するソフトアプリの展示見学の後、「IoT」の解説を同社・谷直樹部長からお伺いいたしました。



③「アジアの会」(大阪)定例開催

◆2004年から続けているアジアをテーマにした異業種交流会「アジアの会」(大阪)。
今年度も下記のとおり定例開催いたしました。

(ⅰ) 第52回開催 (H28.5.18)

講師には、村田貞博氏(日本PR協会
関西事務局長)をお招きして、「当世
留学生気質」と題してご講演。



(ⅱ) 第53回開催 (H28.8.19)

龍谷大教授・藤田悟氏(元毎日新聞
アジア総局長)をお招きして開催。
東南アジア情勢全般についてご講演
をいただきました。

(ⅲ) 第54回開催 (H28.11.18)

東亜大学人間科学部特任教授の
西澤信善氏をお招きして、
「ミャンマー経済はどう変わったのか
～経済改革と国際関係に焦点を
当てて～」と題してご講演をいただき
ました。



(Ⅳ) 第55回開催 (H29.2.23)

特定非営利活動法人緑の地球ネット
ワーク副代表の高見邦雄氏による、
「中国植林事業の現状と展望」と
題してご講演をいただきました。



【3】支援事業**①「(Vol.6) 忘れない 3.11」**

(H29. 3. 12)

2011 年 3 月に起きた東日本大震災から 6 年。
被災地及び被災された方々の復興を願って毎年開催している復興支援イベント：
「忘れない 3.11」(主催:幸福の黄色いバンダナの会)。
今年も、東京・大手町のパソナグループ本部で開催されました。
趣旨に賛同して今年も当協会はイベントを後援いたしました。

**【その他】****★「JICA／大学生フィールド・スタディ・プログラム」の企画提案**

JICA(国際協力機構)では、海外の途上国で行なっている国際協力の現場視察を通して、日本の位置づけやその役割を考えさせ、グローバル化に対応できる人材を育成する目的で、国内大学生対象の国際協力フィールドスタディを 2013 年度から実施しています。毎年、公開入札によって委託先が選考される方式ですが、2013、2014 年度は、企画コンペの結果、業務を受託し実施してきました。今年度も公募が行われ(7月)、企画提案いたしましたが、残念ながら受託には至りませんでした。

Ⅱ. 社会啓発事業

【1】「第8回若者力大賞」表彰実施

(H29. 2. 21)

- ◆今年度で第8回目を数える「若者力大賞」。今回も70名を超す多くの候補者の推薦が寄せられ、その中から、5組(6名)の受賞者を決定いたしました。
今回は、初の外国人受賞、さらには夫婦での初の受賞と話題も豊富で、その栄えある表彰式が2月21日、東京・六本木の「ハリウッド・プラザ」で行われました。

＜若者力大賞＞	ジギャン・クマル・タパ	(国際交流財団職員)	37歳
＜ユースリーダー賞＞	織田友理子・洋一	(NPO/PADM 代表)	36歳
	花柳 琴臣	(日本舞踊家)	34歳
＜ユースリーダー支援賞(個人)＞	藤沢 烈	(一般社団法人 RCF 代表)	40歳
＜ユースリーダー支援賞(団体)＞	NPO/ACE	(代表 岩附 由香)	(敬称略)



(上)記念写真 (右)大賞受賞ジギャンさんと三村会長



過去の受賞者も交えてカンパイ!



日本とネパールの子供たちとの舞踊コラボ

【2】「第1回若者力大賞受賞者講演会」開催

(H28.10.5)

◆毎回、表彰式での受賞者のコメントに感動を与えてもらっています。
そうした彼らの活動を、もっと多くの人々に知ってもらいたい。そして、一緒に彼らの活動を支える力になっていただきたい。
そう願って、表彰式とは別に受賞者講演会を初めて開催しました。

第1回目のスピーカーは、第7回ユースリーダー賞を受賞された、パラ・アスリートの高桑早生さん。リオ・パラリンピックから帰国して間もなくの講演でした。



【3】広報活動

<会報誌(YOUTHLEADER)の発行>

- 発行: (No.140) H28年5月
- 発行: (No.141) H28年11月

<協会ホームページでの情報提供>

○<https://www.youthleader.or.jp>



Ⅲ. 海外交流ネットワーク事業

【1】「AJAFA-21」(ASEAN 交流団体)との交流活動

◆かつて日本で研修(JICA 青年研修)を受けた ASEAN からの研修生は、これまでに 2 万人を超し、帰国後彼らはそれぞれの国で同窓会を組織して、お互いの交流と、次に続く若者たちの育成に取り組んでいます。

当協会は、その横断的な連携組織「AJAFA-21」(ASEAN-Japan Friendship Association for the 21st Century)の一員として交流を毎年続け、ASEAN 諸国とのネットワークづくりに取り組んでいます。

「AJAFA-21」: 設立: 1988 年。

ブルネイ・カンボジア・インドネシア・ラオス・マレーシア・
ミャンマー・フィリピン・シンガポール・タイ・ベトナムの、
ASEAN10 ヶ国の OB 会の連携組織。
そこに日本代表として当協会が正式メンバー
として加わっている。

今年度は、下記の交流活動に参加いたしました。

(i)「RLF(Regional Leaders Forum)」(タイ)への参加 (H28.11.17-20)

AJAFA-21 が発足して 2 年後の 1990 年、ASEAN 各国の若者たちが集いあう初めてのユース・フォーラム（現在：RLF）が、シンガポールで開催されました。その後毎年、各国持ち回りで開催。通算第 22 回目となる今年度は、11/17-20 の 4 日間、タイ・チェンマイで開催されました。



「AJAFA-21」シンボルマーク

22 回大会プログラム→

Tentative Schedule 22 nd Regional Leaders Forum 2016 November 17 - 20, 2016 Chiang Mai Province, Thailand			
Date/Time	Activities	Venue	Remarks
Nov 17, 2016 All day	Arrival of Delegates	Chiang Mai International Airport	
All day	Check-in	Hotel	
18.00 - 20.00	Dinner and Program Briefing	Hotel	
Nov 18, 2016 7.00 - 8.00	Breakfast	Hotel	
8.00 - 9.00	Opening Ceremony	Hotel	National Costume or formal attire
9.00 - 10.00	Lecture on "Global Warming" theme	Hotel	
10.00 - 10.20	Coffee Break	Hotel	
10.20 - 11.40	Lecture (cont.)	Hotel	
11.40 - 11.50	Free time		Change to casual dress (no short and sleeveless shirt)
12.00 - 13.20	Lunch	Restaurant	
13.40 - 15.00	Visit Study on Daily Promotion in Northern Thailand	The Daily Promotion Organization of Thailand, Chiang Mai Branch	
15.00 - 18.00	Cultural Visiting Study	Wat Phra That Doi Suthep / The Blubing Palace	
19.00 - 20.30	Dinner (Northern Thai food explore)	Local style restaurant	
Nov 19, 2016 7.00 - 8.00	Breakfast	Hotel	
8.00 - 12.00	Visiting Study on Sufficiency Economy	Northern Sufficiency Economy Royal Study Center and the Promotion of Supplementary Occupations and Related Techniques	
12.30 - 13.30	Lunch	Tiger Kingdom	
14.00 - 17.00	Free time		
18.00 - 21.00	Farewell party and certificate presenting	Hotel	
Nov 20, 2016 All day	Departure of Delegates	Chiang Mai International Airport	

(H29.3.2-5)

1) 第 28 回「テレビ会議」(H28.5.11) (JICA本部+各国JICA現地事務所)
2) 第 29 回「テレビ会議」(H28.8.4) (")
3) 第 30 回「テレビ会議」(H28.10.27) (")
4) 第 31 回「テレビ会議」(H29.1.12) (")



IV. 協会運営

【1】評議員会・理事会・運営幹事会の開催

＜平成28年度 役員会開催記録＞

(1) 評議員会

日時:平成28年5月24日(火)
場所:芝パークホテル(以下同じ)
議題:H27年度事業・決算承認・
任期満了に伴う役員改選



(2) 第1回理事会

日時:平成28年5月24日(火)
議題:H27年度事業・決算承認の件

(3) 第2回理事会

日時:平成28年5月24日(火)
議題:代表理事・業務執行理事の選任

(4) 第3回理事会

日時:平成28年11月15日(火)
議題:H28年度上半期中間報告

(5) 第4回理事会

日時:平成29年3月27日(月)
議題:H29年度事業計画・収支予算承認の件

＜平成28年度 運営幹事会開催記録＞

★運営幹事会委員:井上理事長・中山副理事長・吉田常務理事・加藤常務理事
野村理事・阪本理事・小笠原理事・家本理事・谷中監事

(1) 第1回運営幹事会

日時:平成28年4月15日(金)
場所:協会事務局(以下同じ)
議題:資金繰り、委員会報告、評議員会招集・議題の件

(2) 第2回運営幹事会

日時:平成28年5月18日(水)
議題:資金繰り、委員会報告・評議員会最終確認の件

- (3)第3回運営幹事会
日時:平成28年 6月24日(金)
議題:資金繰り、委員会報告、個人会員動向の件
- (4)第4回運営幹事会
日時:平成28年 7月26日(火)
議題:資金繰り、委員会報告、GET 催行決定の件
- (5)第5回運営幹事会
日時:平成28年 9月15日(木)
議題:資金繰り、委員会報告、大賞最終候補者報告、会長サロンの件
- (6)第6回運営幹事会
日時:平成28年 10月19日(水)
議題:上半期収支、委員会報告の件
- (7)第7回運営幹事会
日時:平成28年 12月1日(木)
議題:資金繰り、委員会報告、29年度評議員会日程の件
- (8)第8回運営幹事会
日時:平成28年 12月20日(火)
議題:資金繰り、委員会報告、人事募集の件
- (9)第9回運営幹事会
日時:平成29年 1月19日(木)
議題:資金繰り、委員会報告、H29年度計画検討の件①
- (10)第10回運営幹事会
日時:平成29年 2月8日(水)
議題:資金繰り、委員会報告、H29年度計画検討の件②
- (11)第11回運営幹事会
日時:平成29年 3月8日(火)
議題:年間収支見込、H28年度第4回理事会確認、役員変更の件

<平成28年度 月次会計監査記録>

毎月、谷中税理士による月次会計監査を行いました。

(4月分)28.5.18 (5月分)28.6.24 (6月分)28.7.26 (7月分)28.8.19
(8月分)28.9.15 (9月分)28.10.19 (10月分)28.12.1 (11月分)28.12.20
(12月分)29.1.19 (1月分)29.2.8 (2月分)29.3.8 (3月分)29.4.11(→決算へ)

【2】会長サロンの開催**<第5回（平成28年度）会長サロン>**

法人会員の代表者の皆様方と、三村会長、西尾副会長を囲む懇談会：「会長サロン」を、11月25日（火）に芝パークホテルにおいて開催いたしました。

第5回目となる今年度は、12社の代表者の方々にご参加いただき、昼食をはさみながら、協会活動へのご理解を深めていただきました。

今回は、ゲストとして、海外研修 GET に毎回学生を送り込んでくれている埼玉工業大学の西田先生・荒井先生をお招きし、参加させた成果などについて発表して頂きました。

**【3】役員の変更**

1. 評議員(13名)・・・全員重任(任期4年)
2. 評議員会会長：三村明夫氏(再任)／同副会長：西尾進路氏(重任)
3. 監事(2名)・・・谷中和也氏(重任)／小池聡氏(新任)(以上任期4年)
4. 理事・・・重任(17名) 井上義郎氏、中山彰氏、吉田勝昭氏、加藤弘次氏、野村和史氏、秀島博規氏、久世博之氏、坂元充幸氏、里吉弘治氏、阪本時彦氏、下村朱美氏、倉田民子氏、家本賢太郎氏、佐藤孝治氏、藤村健氏、小笠原幹治氏、村岡伸彦氏、(以上任期2年)
新任(1名) 笛吹明男氏(任期2年)
5. 執行理事・・・代表理事(理事長)：井上義郎氏(重任)／副理事長：中山彰氏(重任)
常務理事：吉田勝昭氏(重任)、加藤弘次氏(重任)

(※1～4：H28年度評議員会、5：H28年度第2回理事会において選任)

【4】会員動向(法人・個人)

◆H29. 3. 31現在

- (1) 正会員…………… 46社(退会1社)
- (2) 維持会員…………… 17社(退会1社)
- (3) 個人会員…………… 60名(昨年比－46名)
- (4) 寄付(10万円超)…… 6名(100万円)久世博之氏・秀島博規氏
(60万円)山口育英奨学会
(20万円)程ヶ谷基金
(10万円)鈴木貴士氏・渡辺順彦氏

<参考>3ヵ年推移(個人会員)

	2016年度	2015年度	2014年度
個人会員(@5,000)	60名	106名	31名

【5】内閣府・立ち入り検査

◆公益法人は、概ね3～4年に一度、内閣府の立ち入り検査を受けます。
公益財団法人に移行(H24.4.1)して以来、今回初めての検査が行われました。

- ・実施日:H29.1.11(水)
- ・検査員:内閣府公益認定等委員会事務局 調査官 2 名
- ・指摘事項:(事業関連)
 - 「若者力大賞」 推薦者と選考者は分離し、公募の性格を強めること。
選考の過程を記録しておくことが望ましい
- (会計関連)
 - 「会計実務」 経理規定を遵守して引き続き厳格に務めること
- (運営関連)
 - 「協会会長」 可能な限り「評議員会会長」の記載が望ましい
 - 「役員の選任」 一括でなく一人ずつ個別に行うこと
 - 「決算審議」 評議員会の2週間以上前に理事会を開催し、決算の承認ののち、評議員会を召集・開催のこと
- ・総括:上記のほか、細かな確認事項等はありませんでしたが、特別大きな改善指導はなく、全体には適正かつ適切な運営がなされていると理解いただきました。

事業報告における付属明細書

平成 28 年度事業報告においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

平成 29 年 3 月

公益財団法人 日本ユースリーダー協会

東京都港区赤坂 1-1-14 野村溜池ビル
公益財団法人日本ユースリーダー協会
TEL：03-6441-0581
Email：day@youthleader.or.jp